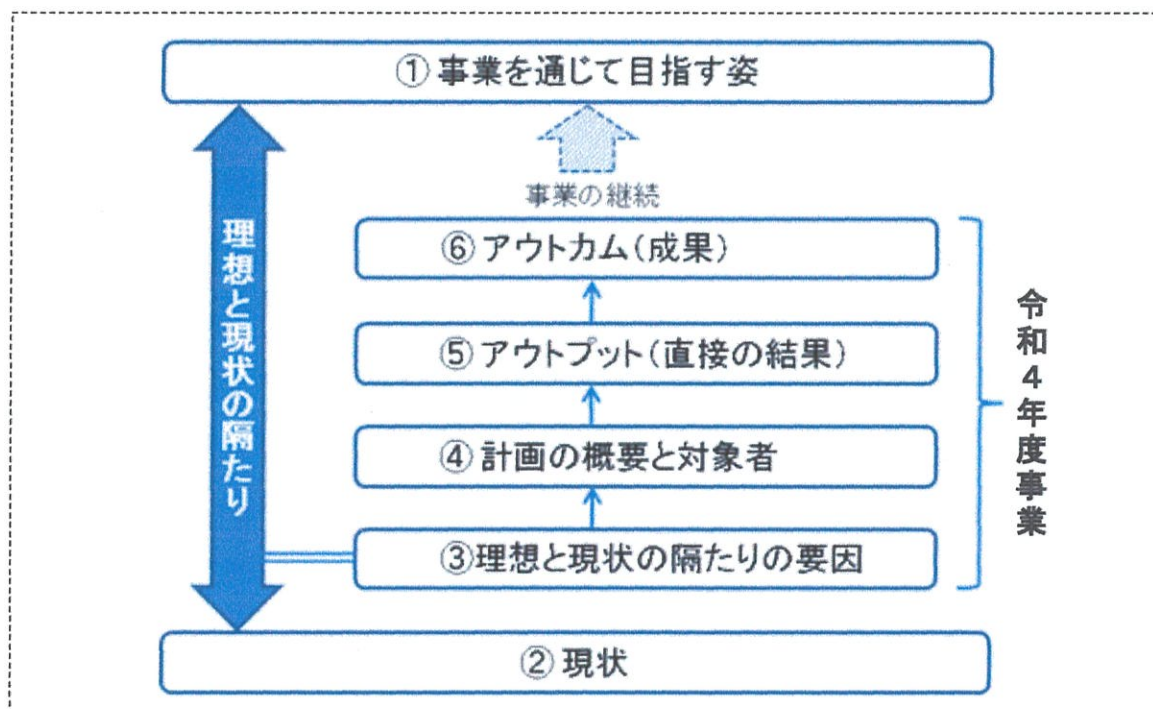


事業計画書

事業名		若者就労支援×遊休不動産活用による高梁川流域活性化事業
グループ名		遊休不動産を活用した若者就労支援グループ
代表 団体	名称	特定非営利活動法人吉備たくみ会
	住所	倉敷市東町 4-3 1
	担当者	内田 和雄
	電話番号	0 8 6-4 2 1-7 1 0 0
	E-mail	info@takumikai.org

◆ 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



◆ アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。アウトカムには、アウトプットに直結した短期のものと、目指す姿へつながる長期のものとがあります。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、〇〇〇というアウトプットが生じ、次にその成果として、△△△というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施→アウトプット→アウトカム

◆ アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム（短期）	アウトカム（長期）
学習支援事業	学習会の開催	月4回、各回20名参加	参加者の学習意欲の向上	家庭での学習習慣の定着
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成、800人に配布	就労に必要な知識の習得	就労の定着、経済的自立
保護者支援事業	居場所の運営	週2回、各回15名参加	育児の負担感の緩和	子どもの健やかな成長
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回、各回5名利用	移動手段の選択肢の増加	移動困難者の減少

1 事業を通じて目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。事業の実施により、地域課題が改善に向かった後、「どのような地域・人が、どのような状態になっていることを目指すのか」について、具体的に記入してください。

就職の失敗やひきこもり等で一般就労できていない若者に対して、遊休施設や空き家等の遊休不動産を活用したチャレンジショップやイベント等への出店を通じて、社会との繋がりや地域貢献に携わる多様な就労機会を提供することで、複数の生業を持つまちづくり人材として経済的自立ができている状態を目指す。

2 現状

1「事業を通じて目指す姿」と比べて、現状はどのような状況にありますか。「どのような地域・人が、どのような状況にあるのか」について、具体的に記入してください。

就職の失敗やひきこもり等で生きづらさを感じている若者は、相談先や適切な支援を受けることができず、社会との繋がりが切れてしまっている状況にある。また長引くコロナ禍の影響により、一般就労を目指す若者たちの就労機会も減少しており、経済的な不安も常に抱えている状況。

一方で、総社市を含む高梁川流域エリアでは遊休施設や空き家等の利活用を進めようとしているが、活用を推進する若い人材が不足している状況。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

1「事業を通じて目指す姿」と2「現状」との隔たりを生み出している、主な原因はどのようなものと考えますか。

公的支援を受けている障がい者とは異なり、生きづらさを感じている若者に対する支援の必要性が認知されていない。またコロナ禍における就労機会の減少により一般就労への競争率が高くなっており、就職の失敗という見られ方から自己肯定感が著しく低下している。

4 計画の概要と対象者（令和4年度）

(1) 事業の形式

次のいずれか該当する事業の形式に☑をしてください（両方でも可）。

- ☒ 実践を通じてグループ内でノウハウを受け継ぐ事業
- ☒ グループ内の団体それぞれが持つノウハウを持ち寄り、地域の新たな催しや地域資源を開発する事業

(2) 計画の概要

3「目指す姿と現状の隔たりの要因」を取り除くため、どのような事業を実施しますか。「どのような地域・人に対して、どのような活動を行うのか」について、簡潔に記入してください。（※計画の詳細は下記7に記入してください）。

空き家等の遊休不動産や無人駅等の遊休施設、行政が管理する公的施設などを活用したチャレンジショップやイベント等の企画・運営を通じて、総社市内の一般就労できていない若者に多様な就労機会を提供することで、複業での生業づくりができるまちづくり人材を育成する。

5 アウトプット（直接の結果）

(1) 事業を通じて提供するサービス

事業を通じて、「どのような地域・人に対し、どのようなサービスを提供するのか」について、具体的に記入してください。

総社市内の一般就労できていない若者に対して、総社商店街や雪舟生誕地公園、その他遊休施設等でのイベント企画・運営といった就労機会を通じて就労意欲のある若者の可視化を行い、無人駅化した総社駅長室を活用したチャレンジショップでの商品企画及び販売を行うことで一般就労に限らない経済的な自立に繋げていく。

(2) アウトプットを測る指標と数値目標

事業のアウトプットを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
チャレンジショップ出店数	0回	28回（4回/月×7か月）
イベント出店数	0回	3回
就労体験の若者延べ人数	0人	65人
継続就労の若者人数	0人	6人（65人×10%）

(3) アウトプットの測定方法

事業を通じて、アウトプットを測る指標をどのように測りますか。数値目標の達成状況を把握できる、具体的な方法を記入してください。

チャレンジショップ出店数：出店カレンダーを作成し、出店数をカウント。

イベント出店数：イベント申込数をカウント。

就労体験の若者延べ人数：毎回希望者を募り、参加者名簿を作成。

継続就労の若者人数：チャレンジショップでのスタッフ名簿を作成。

6 アウトカム（事業の成果）

(1) 長期のアウトカム

1「**事業を通じて目指す姿**」の一段階手前の状況はどのようなものですか。最終的に実現しようとしている、地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

総社市内の一般就労できていない若者が、地域貢献に携わる取組みや事業に積極的に
関与していくことで、地域のまちづくり人材として経済的自立が出来ている状況。
また遊休不動産等を利活用したチャレンジショップが高梁川流域に広がっている。

(2) 短期のアウトカム

今年度の事業のアウトプットを通じて実現したい成果はどのようなものですか。アウトプットから今年度中に導かれる地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

就職の失敗による自己肯定感の喪失状態を、地域貢献に携わる就労経験を経ることにより、複業での生業づくりの可能性とまちづくりに関わることの自己肯定感の向上が
感じられている状況。また総社市内の遊休不動産が利活用され、新たな事業が生まれる
状況。

次年度以降の自走化を目指すうえで、販売商品や出店の日程等に応じた集客数及び販売
単価の状況を分析し、ビジネスモデルとして成り立つよう実証する。

(3) 短期のアウトカムを測る指標と数値目標

事業のアウトカムを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの
程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
チャレンジショップ来客数	0名	1,120名(40名/回×28回)
チャレンジショップ売上	0円	560,000円(1,120名×500円)

7 計画の詳細

(1) 事業の具体的な内容

※内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらい等を具体的に記入してください。

○内容

高梁川流域の農産物、またはそれを材料として加工した惣菜、弁当を販売する。

販売には一般就労できていない若者達を採用し、就労支援として取り組む。

○対象者

販売者：高梁川流域で一般就労を目指す無業状態の若者たち

商品提供者：高梁川流域の農家、惣菜/弁当製造者

○実施期間

令和4年9月～令和5年3月

○実施場所

総社駅内チャレンジショップ（駅長室を活用した新規スペース）

雪舟生誕地公園で行われるマルシェイベント等の催しもの

○ねらい

高梁川流域エリアの遊休施設や空き家等を若者就労支援の場及びまちづくり人材育成の場として活用するねらいで、農産物や惣菜/弁当などの食品など流域で作られるものを販売するチャレンジショップとして運営。

総社駅は様々な沿線が重なる拠点として、また同時に流域から集めた特産物を豊富に扱う小規模の道の駅のような販売所となるような事業を目指す。

(2) 事業のスケジュール（準備～実施～報告）

7月	チャレンジショップ確保 商品・出店内容の検討、チラシ作成
8月	出店の希望者募集 イベント出店
9月	チャレンジショップ出店
10月	チャレンジショップ出店、イベント出店
11月	チャレンジショップ出店
12月	チャレンジショップ出店、イベント出店
1月	チャレンジショップ出店
2月	チャレンジショップ出店
3月	チャレンジショップ出店 実績報告書提出

8 ノウハウとその有効性

ノウハウとは、団体が過去に実施した活動の中で習得したり、成功や失敗の経験から得たりした、地域の課題解決に有効な手法や技術などの蓄積を言います。それぞれの団体が有するノウハウの内容と、それを事業にどのように活かせるのかについて、具体的に記入してください。

【NPO 法人吉備たくみ会】

障がいを持った方、コロナ禍での失業など様々な理由で就学や就労が難しい方など様々な理由で無業状態やひきこもり状態になってしまった若者達の支援に力を入れている。2015 年から 20 名以上の若者を一般就労に結びつけて得た実績/ノウハウを高梁川流域で活動する団体とシェアして、更に活動範囲を広げて支援対象者を増やしていく。範囲を広げていくために活動拠点を他団体の協力で設置していく可能性を感じている。

【NPO 法人総社商店街筋の古民家を活用する会】

総社市を中心に商店街の活性化及び空き家等の利活用事業を行っており、その他行政と連携したイベント等の企画やシェアキッチン等の運営に関する豊富な知見がある。また当法人では、空き家等の利活用を通じた「地域の産業・雇用の創出」「地域に育つ若者が地域で楽しめるまちづくり」を目指しており、今後も若者がチャレンジしやすい事業の創出及び拠点の整備に取り組んでいく。

9 事業完了後の取り組み

補助金の交付条件として、事業の完了後1年以内に、事業の成果を活かした取り組みを実施することとしています。事業の成果が継続して地域に根付くのに有効な取り組みであれば、その規模や内容は問いません。事業完了後に予定している取り組みの内容を具体的に記入してください。

(1) 事業の実施主体となる団体名

NPO 法人吉備たくみ会

(2) 事業完了後の取り組みの概要

- 総社駅長室のチャレンジショップは期間限定のショップとして試行的な運営として開始し、事業期間後は継続的な営業形態を目指す。
- 働くスタッフとしては一般就労できていない若者達を採用し、事業完了後にショップの営業時間を増やすと共に複業を軸にしたまちづくり人材が増えるよう取り組む。
- 総社駅の他に流域内にある遊休不動産をリサーチし、別の若者就労支援チャレンジショップの開設を目指して支援活動を継続する。

10 SDGs との関係

次の SDGs の 17 のゴールのうち、申請する事業に関係する番号を選び、1～2個記入してください。なお、当補助金の要件を満たせば 17（パートナーシップで目標を達成しよう）に該当しますので、あらかじめ記入しています。

① 1 7 ② 1 0 ③ 1 1

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs とは

2030 年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標です。経済・社会・環境の諸課題の統合的な解決を目指し、17 のゴールは基本コンセプトである「だれ一人取り残さない」を実現するために、分野別の目標としてまとめたものです。

17 パートナーシップで目標を達成しよう



収支予算書

	所属・役職	氏名
経理責任者	特定非営利活動法人吉備たくみ会 理事長	内田和雄
経理担当者	特定非営利活動法人吉備たくみ会 理事	小谷雅彦

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
補助金		750,000	※千円未満切り捨て、上限750千円
その他	事業売上	101,000	180円×20ヶ×28日 弁当委託販売売上
		118,000	1回4200円×28日パン等食品販売総売上
収入合計		969,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
人件費	ショップスタッフ	303,000	900円/h×6h×2名×28日
	ショップ支援員	152,000	900円/h×6h×1名×28日
	イベントスタッフ	49,000	900円/h×6h×3名×3日
	イベント支援員	33,000	900円/h×6h×2名×3日
謝金		0	
旅費交通費		0	
消耗品費		10,000	文房具、コピー紙等店舗とイベント用
印刷製本費	チラシ印刷	3,000	A4/両面/フルカラー/1,000部
	看板(テント地)	22,000	チャレンジショップ前に掲示用幕
通信運搬費		0	
保険料	PL保険料	12,000	食品の販売に対する補償
使用料・賃借料	総社駅チャレンジショップ	231,000	8,250円/日×4日(週1日)×7か月
委託料	チラシデザイン	40,000	A4/両面/フルカラー
	SNS運用代行	43,000	14,300円×3ヶ月
対象経費計		898,000	
研修費(弁当販売)	eラーニング受講	10,000	食品衛生責任者養成講習会ネット受講
その他	商品仕入れ	61,000	お菓子、ペットボトル飲料等仕入れ費
対象外経費計		71,000	
支出合計		969,000	(収入合計と一致)

※金額は切り上げて千円単位で記入してください。